

一般社団法人 JiC協同組合支援協会

JiCは7つの開発目標を宣言します。



協会概要

- 名称:一般社団法人 JiC協同組合支援協会
- 設立:平成30年6月6日
- 代表者:会長 丸山信
(社団法人中部インバウンド協会 代表理事)
(株式会社JiCホールディングス 役員)等
- 所在地
【本部】愛知県名古屋市中区東桜2-22-18 日興ビルディング2階
【東京】東京都中央区八丁堀4-2-10 BRICK GATE 京橋4階
- 加盟団体
社団法人 全国請負化推進協議会
一般社団法人 外国人雇用協議会
群馬県鐵構業協同組合 賛助会員
- JiC協会員数:正会員39企業、参与会員137企業



当協会の理念・目的

JiC協同組合支援協会 理念

中小企業のグローバル化を進め、日本人と外国人がお互いを必要とし、尊重し多文化共生社会を実現する。

●目的

1. 外国人材を適切に育成、保護、支援するとともに、差別のない多文化共生社会の実現を目指す。
2. 「人材育成」、「人材確保」、「国際貢献」を基本目的とし、迎え入れる外国人材の立場に立って活動する。
3. 「外国人材との共生」を、日本の歴史、伝統、文化を再認識し、日本人の国際性を高めるチャンスと捉え、地域における国際交流推進に貢献する。
4. 「働きがい」、「生きがい」、「安全・安心」をキーワードに外国人材から選ばれる条件及び環境の整備に努める。

当協会の主要取組み

●SDGsの取組

選ばれる日本、組合、企業にする為には、雇用環境が大事であるという観点から外国人が働きやすい環境整備を推進する。



●グローバル人材の活用

①技能実習生、特定技能外国人の受入企業支援全般

⇒日本国内での犯罪や失踪の撲滅を目指す支援

⇒優良送出し機関の選定、組合間でのセーフティーネット構築

②KUROFUNESERVICEサービス・・・外国人生活支援

⇒実習生の生活のより良いサポートを促進・提供をしています。

③雇用慣行賠償責任保険・・・外国人受入組合、企業支援

⇒中小企業様が抱えるリスクのサポートをしています。

ASEAN諸国の若手官僚が 日本で建設・農業・宿泊・介護を学ぶ 短期技能実習プログラムについて

ASEAN諸国は、さらなる生産技術の向上と若手人材の育成を目標に掲げています。しかし、現状としては座学的な知識はあるものの、実務に生かされていないという課題を抱えています。そこで技能実習制度を活用した国家の取り組みとして、ASEAN諸国の新人官僚短期技能実習プログラムを提案いたします。

- ① ASEAN諸国の優秀な人材が日本の各産業で学び、日本での経験を母国に持ち帰り継承すること。
- ② 習得した技術を母国の産業に生かすこと。
- ③ 送出国として、新たな技能実習生の創出すること。

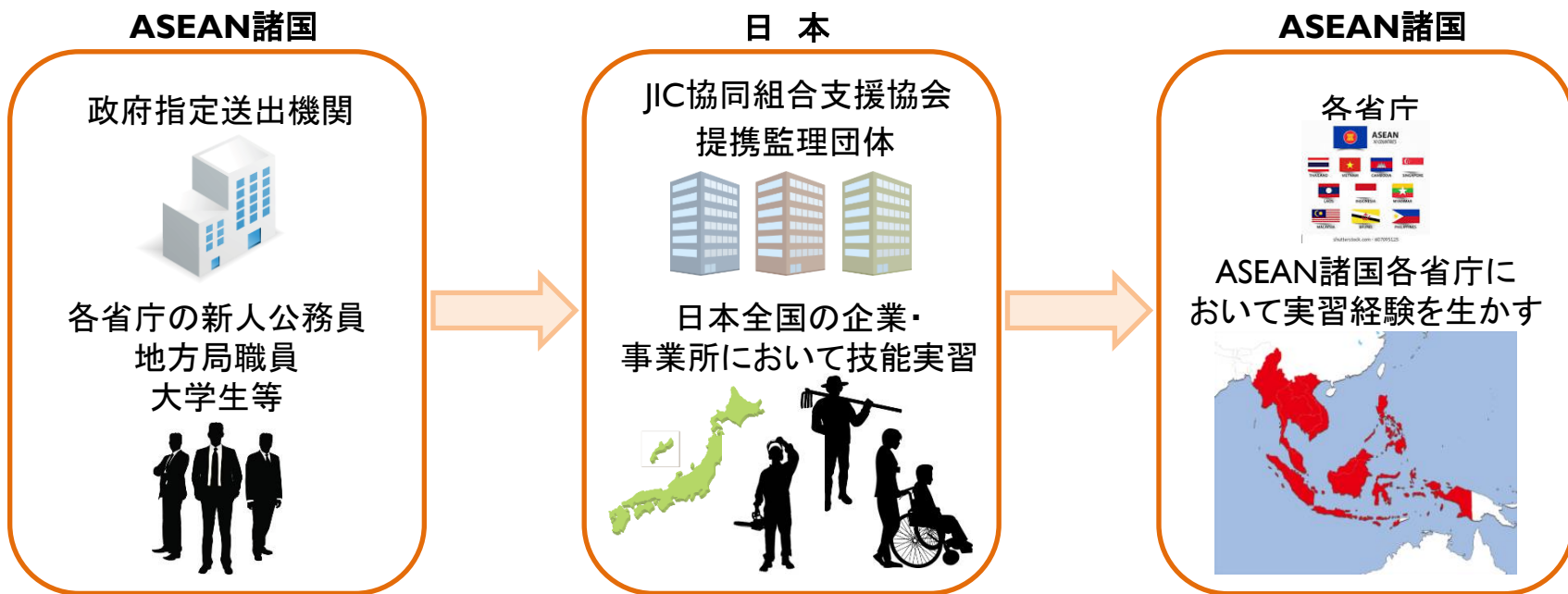
例)

※日本で本当に学びたい産業でのOJT

※実習生が実際に働く事の重要性

※日本で学んだ事を母国での産業に活かす為の活動

関係者相関図



志の高いASEAN諸国の新人官僚による技能実習なので、安心して受け入れていただけます。
また、多数の監理団体と提携しているため、全国対応が可能です。

ご清聴、誠にありがとうございました。

JiCは7つの開発目標を宣言します。

